

令和5年度 事業報告

社会福祉法人 慈敬会

特別養護老人ホーム ヒューマン・ケアこうしの杜

令和5年度 こうしの杜 入所事業報告資料

令和6年5月30日

1. 利用状況

1-1 利用者の状況（令和6年3月31日現在）

	男性	女性	合計
入所者数	5	22	27

1-2 入所利用者の要介護度

介護度	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計	平均
人数	0	0	10	8	9	27	3.85

1-3 年齢別利用者数

年齢（歳）	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	平均年齢
男性	2	0	1	1	1	83.2
女性	0	0	1	6	15	92
						90.4

1-4 入所申込（待機）の状況

介護度	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
人数（人）	0	1	6	3	3	13

1-5 入所利用状況

	実日数		延人数		入・退所		入所率（稼働率）
	入所		入所		入所	退所	入所
4月	30		812		1	0	93.3%
5月	31		888		1	0	98.8%
6月	30		868		0	1	99.8%
7月	31		871		1	1	96.9%
8月	31		851		0	0	94.7%
9月	30		806		3	3	92.6%
10月	31		780		1	1	86.8%
11月	30		760		0	0	87.4%
12月	31		799		1	2	88.9%
1月	31		750		0	3	83.4%
2月	29		708		2	0	84.2%
3月	31		783		1	0	87.1%
累計／平均	30.5		9676		11	11	91.1%

2. 苦情処理について

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員	
土屋 政伸	椿 一夫	井 子文	横山 廣秋

苦情・相談内容及び件数

受付日	内容	解決策
R5.8.11	・本人より、娘様へ携帯電話にて連絡されて本日面会された。父の日にプレゼントした洋服（上下セット）のズボンが見当たらないと娘様へ伝えられていた。居室を見てもらったが、上着はあったがズボンが見当たらないと申し出あり。	・ご家族へもう一度探してみる事をお伝えした。後日川崎NSより上下セットの色柄が違うが本人へ確認したら、間違えないとの事で居室タンス内より見つかった。娘様へもご連絡した。
R5.8.15	・ご家族の面会時に、本人よりご家族へ黒の薄手のズボンが2枚無いと言われていた。ご家族も持ち帰ってはないのではありませんとの申し出あり。	・ご家族へもう一度探してみる事をお伝えした。9/1…介護長より、本人がパンツやズボンの汚染時に尿取PADと一緒に新聞紙に包んで捨てている様なので、尿取PAD等を捨てる際には中身を確認する様に徹底している事をお伝えした。
R5.8.16	・朝食を配膳した際に、スプーンを乗せており箸を乗せ忘れていた事に、本人が立腹された。夜勤者より本人へ謝罪するが怒りが収まらなかった。	・相談員より本人へ謝罪を行い、今後は注意する事をお伝えした。その時は笑顔も見られて納得された。本人も言い過ぎたねと苦笑いされた。今後は配膳時に箸が乗っている事を徹底して行きます。
R6.1.24	・ご家族面会時に、本人がお風呂上りにジュースを飲もうと思って職員Aさんへ頼んだらKさんは水分の制限があるのでジュースを飲んだらその後のお茶等の量を減らさないといけないですよと言われたそうです。母は水分の制限があるかの確認がありました。	・看護師と前田Drにも再度確認を行い、ご家族へご説明を行った。心疾患と浮腫などあるので1日1000CCの指示が出ている。しかし本人の楽しみもあるので、毎日ではないならジュースはOKとの事。本人へも説明を行い納得されました。その後娘様にも上記の件をお伝えして納得されて安心されていました。
		合計 4

3. 防災管理について

総合防災訓練の実施状況（2回/年実施）

【第1回目】…令和5年6月6日に総合防災訓練を実施（夜間想定）自主訓練
 ・事故等なく避難誘導が出来ていた。夜間帯3名の想定でしたが、スムーズに行動できていました。訓練終了後に消防用設備についても説明を受けました。
 ※令和5年8月21日…消防署立入検査実施あり。特に異常なし。

【第2回目】…令和5年12月7日に総合防災訓練を実施。（日中想定）消防署立ち合い
 ・特に問題等なく実施できました。訓練後に、初期消火訓練と防災設備の説明を業者の方より行って頂いた。

消防用設備等の点検状況（三菱電機ビルテクノサービス）2回/年実施

- ・令和5年9月13日実施。…異常なし。
- ・令和6年3月18日実施。…異常なし。消火器6本製造年より10年（2013年製）経過耐圧性能試験必要

4. 職員数、職員採用状況：令和6年3月31日付

職員数 32名（派遣2名除く 前年同月数 34名）

・正職員 23名、パート他職員 9名（前年同月：正職員 25名、パート他職員 9名）

・男性 10名 女性 22名（同年同月：男性 11名、女性 23名）

・合志市在住者 17名（53%）

<R5年4月1日～令和6年3月31日>

・退職者：2名（調理1名、介護1名）

・入職者：1名（調理1名）

・移動：たかばの杜へ3名

・外国人就労者：2名（R4年6月から：フィリピン、ベトナム）

・育休明け就労者：2名 休暇中3名

・勤続10年以上者：11名（前年同月12名）

・派遣職員：2名（介護1名、調理1名）

<入所事業>

配置基準の職種（人数）	人数 （兼務）	有資格（前年数）
施設長：1	1	社会福祉士 1名（1）
看護師：1	4	看護師 5名（4）
介護職：10	15	介護福祉士 13名（13）
理学療法士	1	介護支援専門員 4名（3）
生活相談員：1	1	社会福祉主事 3名（2）
介護支援専門員1	1	管理栄養士 1名（1）
管理栄養士：1	1	調理士 1名（2）
事務職	2	理学療法士 1名（1）
調理員	3	ユニットリーダー研修受講者 3名（3）
清掃	1	認知症介護実践リーダー研修修了者 3名（3）
委託医（非常勤）	（1）	認知症介護実践者研修 2名（3）
	32名	認知症ケア専門士 3名（4）

計	+派遣 2	介護職員初任者研修修了者	4名 (2)
		介護福祉士指導者講習終了者	1名 (1)
		技能実習責任者講習終了者	1名 (1)
		技能実習指導員講習終了者	3名 (2)
		安全対策加算対応研修修了者	1名 (0)

<通所事業>

配置基準の職種 (人数)	人数(兼務)	有資格、上記にまとめる 人員基準：看護・介護合わせて算定
管理者・生活相談員 (1)	1	
看護職 (兼務可)	(1)	
介護職 (1)	1	
計	2名	

<居宅支援事業>

配置基準の職種 (人数)	人数(兼務)	資格：看護師・主任介護支援専門員
管理者・介護支援専門員	1	
計	1	

職員状況の詳細

令和6年3月末時点で入所事業の介護職15名、看護職4名であり基準を満たしているが、昨年度に引き続き介護職は時間短縮、日勤希望者が多い状況のままで夜勤ができない職員や高齢者のパート雇用者が増えており人員不足である。また、職員の体調等を考え業務の時間や内容等の変更を行なっている状況であり、今後もケアや業務の工夫が必要である。そしてソフト面に加えて、ハード面でも間接的な業務簡素化や介護機器のICT導入等を行い、ケアの質も大切にしながら職場環境を今後も考える必要がある。

5. 職員 福利厚生

- ・職員健康診断料：夜間勤務者は年2回実施（3月・9月施行）、新入職者検診）
- ・インフルエンザ予防接種（10月）
- ・マスクの配布
- ・年末忘年会お年玉景品
- ・誕生日クォーカードプレゼント

6. 令和5年度 施設運営と入居者の方へのケアの報告

月別の主な活動 *は、地域交流内容 *研)：研修会

年月	施設運営設備管理	主な行事・余暇活動 *地域交流	職員研修・活動
R.4年 4月	害虫駆除 新型コロナウイルス感染予防	・軽食づくり	研) メンタルサポート
5月	運営推進会議 電気機器点検 食中毒予防啓発活動	・居室環境整備、清掃、衣替え	研) 感染症について コロナ、食中毒、ノロウイルス 研) 新入職員研修
6月	防災訓練・消防設備点検 理事会・評議員会	・水無月のお茶会	研) 防災管理 (非常対策委員会) ・外庭清掃
7月	運営推進会議 指導監査 備品在庫整理	・七夕飾り	研) 中止(感染拡大により)
8月	消防署立ち入り検査	・納涼祭(24日) ・	研) 高齢者の権利擁護につて 身体拘束をしないケア
9月	介護相談員訪問	・敬老会式典(ご家族参加なし) ・花火観賞玄関前	研) リスクマネジメント (事故集計・分析)

			セクシャルハラスメント
10月	介護相談員訪問 インフルエンザ予防接種 寝具交換		研) 感染症対策 ・職員検診(夜勤者)
11月	介護相談員訪問	・スポーツ大会	研) 認知症ケアについて ・ガラス窓清掃
12月	介護相談員訪問 総合防災訓練	・門松造り	研) 高齢者ケアに関する倫理と 権利擁護
R.6年 1月	電気設備点検	・おせち料理	研) メンタルサポート
2月	次年度委員会計画立案	・ ・節分、豆まきイベント	研) リスクマネジメント (事故報告書集計・分析)
3月	介護相談員訪問 防災点検 理事会・評議員会	・桜花見(ドライブ)	・本年度事業まとめ、報告 ・次年度委員会計画 ・職員検診(法定)
備考	コロナワクチン適宜 各種変更更新手続き (定款・規定)	・くつろぎ喫茶・杜カフェ1/月：中止	

*中止：各ボランティア（前年度に続き）

7. 施設委員会

以下の委員会を編成し、円滑な施設運営と入居者の方へのケアの向上に努めている

- ・研修記録委員会（月1回の施設内研修内容を考える ケアの質的向上）

- ・ケア改善委員会（日々のケアや業務改善を考える）
- ・リフレッシュ委員会（日々のレクリエーション・余暇活動・季節行事の充実を考える）
- ・リスクマネジメント委員会（危機管理 施設内のリスク回避や介護事故予防を考える）
- ・身体拘束廃止適正化委員会（尊厳を守り行動制限等をすることなく安全に配慮したケアを考える）
- ・虐待防止検討委員会（高齢者の権利擁護を考える。また不適切なケアになっていないか検討する）
- ・保健衛生委員（衛生管理、感染症予防を考える、感染管理上の事業継続計画 BCP の見直し）
- ・環境美化委員会（施設内美化、環境整備、エコを考える）
- ・栄養管理委員会（健康管理 栄養マネジメント 食の愉しみを考える）
- ・災害防災対策委員会（施設内の防災、地域災害時の支援活動を考える、災害上の事業継続計画（BCP）の見直し）
- ・広報委員（広報誌の作成、施設外への広報活動）

各委員会は、最低月 1 度の委員会を開催し、年間計画に沿って業務を実行した。各委員会が実行した内容は各自記録にまとめ、それを管理者は確認する。また職員が閲覧できるように保管している。

8. 運営推進会議の状況

会議の開催については、その都度施設内で議論したが、感染管理として今年度も前年に引き続き中止とした。

9. 入居者の方へのケアと業務の活動報告詳細

①食事サービスについて

【給食に関する方針】

入居者の方が食事の過程に参加できる機会を作ることで、残存機能を生かし、生きがいの場を提供している。

安全・安心な料理の提供、また、地産地消、地域の商店と取引を行い、その土地の食材や郷土料理をとりいれ、家庭的で入居者になじみのある料理を提供することを心掛けている。

【栄養量等の状況】

	エネルギー kcal	蛋白質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン C mg	塩 g
令和5年度の 栄養所要量	1560	52	510	6.2	100	7
令和5年度 給与栄養量	1750	63.5	688	9.1	115	9.7

(1) 入居者の方がくつろいで食事出来るような配慮とその対応

感染対策のなかで、食事の座席の向きは、一方向での食事であった。
食器は陶器を使用して家庭的な雰囲気を作っている。

(2) 利用者の身体状態（咀嚼能力、健康状態等）に合わせた調理への配慮及び対応

その都度栄養士に報告し、次の提供時に対応できるようにしている。
カンファレンスにて報告、また栄養士が食事場を巡回し確認して対応している。

(3) 食事が適温で食べられるような配慮とその対応

ユニットには、冷蔵庫・電子レンジ、IHコンロがあるので、
遅れて食される方には適温で対応している。米飯は各ユニットにて炊いて
いる。また、汁物も温められるように鍋でユニットへ配膳している

(4) 利用者の身体状態に応じた食事のための自助具等の活用

個人用自助具は各自持参されている。
麻痺や視覚障害がある方にはその人にあった陶器を使用している。

【食事形態】

令和5年3月1日

軟菜食	刻み食	やわらか 食	極キザミ 食	ミキ サー 食	ミキサー ハーフ食	合計
4	8	0	4	1	8	25

(在籍入居者 25
名)

【食費】 朝食：380円 昼食：500円 夕食：565円 1日：1,445円

②ケアカンファレンス

入居者の方へのケアをより良いものにするために、朝の引継ぎ後 15～25 分のカンファレンスを継続している。その内容はおひとりお一人についてのケアの方法や業務の見直し、事故の再発予防について等の検討を行いケアの統一を行っている。入居者の方にも参加していただく場合もある。また、チームワークにおいても必要なことと認識し位置づけている。

③ケアプラン・機能訓練実施状況

ケアプランに基づき個別の機能訓練計画書を作成し実施している。昨年同様に計画書の内容は、歩行訓練や移乗動作訓練に加え、生活に即した動作の習慣や食事の下ごしらえ、食事の準備や後片付け、掃除や洗濯物の整理など入居者間の交流を行いながらの機能訓練であるが、新型コロナウイルス感染予防により、入居者の方々の距離や接触を少なくするため、実施プランは個人での機能訓練が主な内容となった。

ケアプランカンファレンスについては、感染状況によりご家族との対面を検討し実施し、職員と入居者ご本人のみの参加の場合は、後に書面でご家族へ報告とした。

④余暇活動について

日々の余暇活動については、個別のケアプランを基にその日のユニット担当者が実行している。

また、それ以外にリフレッシュ委員会で季節のイベントや外出ドライブを企画したが、熊本県や合志市の感染状況を勘案しながら、時期を延期したり中止したりすることを繰り返し行った。

⑤感染症対策について（総括）

R2年2月中旬から続いている感染症の注意勧告→ご家族への面会制限から面会中止の繰り返しの対応を継続して行った。特に職員への感染症に関する情報伝達や注意警告等はグループLINEを使用し随時啓発を行った。更に厚労省の感染対策資料を基に新型コロナウイルス感染予防マニュアルの見直しを繰り返した。その内容は

1) 入居者の方への配慮やケアについて 2) 職員の日常生活や就労上の注意等のまとめ 3) 感染症発生時の対応、フローチャート作成等、常に職員間の連携を行った。

コロナウイルスワクチン接種については入居者の方は、ほぼ全員7回目を接種し職員の最終接種は15名、インフルエンザ予防接種においては入居者、職員共にほぼ全員接種された。今年度の施設内感染はなかった。

⑥入居者の健康管理について

入居前には、嘱託医先に受診しご家族も医師と接見し、その後もご本人とご家族が医師からの身体の状態上の説明を受け、安心して施設生活を送れるように医師と看護師が連携している。

施設内の健康管理は、月4回火曜日に嘱託医の往診がある。内服の変更や症状の変化があれば、ご家族へ随時連絡している。また、病状の増悪が懸念される場合や今後の療養の検討が必要な場合には、早期に医師からの説明を受けられるように、ご家族に連絡を行い今後の療養を医師とご家族と相談している。

⑦最期のお看取りのケアについて

ほとんどのご家族が自然な療養かつ緩和ケアを選択された。施設でのお看取りをさせていただいた方は6名の方であった。

ご本人が安楽に最期を全うされるように、お看取り時期と医師が判断された時期にカンファレンスを行い詳細なケアを計画実施し、お亡くなりになられた後の振り返りを行った。

施設でのお見取りをさせていただいていることから、命の尊厳を日々考えるため
前
田医師ともケアについて、常に相談し入居者の方の最善のケアについて検討を重ねて
いる。

令和5年度 居護支援事業所事業報告

(運営方針)

地域包括ケアの実現のために地域と連携し、下記の項目を中心に可能な限り在宅で自立した生活を送れるように支援する。

- ・ 認知症（若年性を含む）方の在宅支援
- ・ 要介護者ならび要支援者の重度化予防

- ・医療との連携
- ・在宅におけるターミナルケア
- ・利用者ならび家族支援

(事業計画)

1：基本事業

- ・利用者ならび家族からの相談を受け、要介護認定申請の代行ならびその後の支援を行い、サービス利用につなげる。

結果：適宜地域の高齢者からの相談を受け、要介護認定の申請から介護保険事業につなげたり地域の居宅介護支援事業所や地域包括支援センターからのケアプラン作成依頼の要望も増えてきており、それに対応することができた。

- ・認定後の福祉制度の活用や居宅サービス計画書の作成、サービス導入や連絡調整、モニタリング、給付管理業務などを行う。

結果：土曜日・日曜日などの休日にも相談があり、適宜対応を行った。特に認知症のケースや一人暮らしの高齢者のケース等タイムリーな対応が求められるため、ご利用者の不安を無くするために様々なサービス事業所や医師との連携を図りながら支援ができた。

- ・地域包括支援センターからの委託を受け、要支援者の介護予防プランを作成、サービス導入や連絡調整、モニタリング、給付管理などを行う。

結果：合志市の地域包括支援センターからの依頼は、少なかったが、他の市町村からの依頼が多かったため、現在も適宜連携を図りながら実施している。

- ・特養を含めたグループ施設と連携し、在宅での生活が困難な方への施設入所を含めた支援を行う。

結果：合志市等近隣市町村の特別養護老人ホームと連携を図りながら、施設入居の調整を行うことができた。

2：地域とのつながりを深め、地域福祉に貢献する。

- ・近隣小学校の福祉教育活動への参加協力（依頼時）
- ・合志市地域包括支援センターを含む他市町村の包括支援センターと連携を図り、必要時は「地域ケア会議」に参加し、地域課題の提案や解決を含めた提言を行う。
- ・地域高齢者サロンへの活動協力。

・地域からの相談を随時受け、関係各所に繋げる。

結果：以下近隣小学校教育活動においては、福祉の話等を実施又YMC A学院社会福祉通信コースの生徒の実習を受け入れ、合志市の開催する「地域ケア会議」の見学や「黒髪地区いきいきサロン」への参加、社会福祉法人慈敬会として「第1層及び第2層生活支援事業」への会議参加「合志市プラットホーム事業」への参加に伴う地域の方々との意見交換等を実施

表 1:介護度別月別利用者

年月	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	支援合 計	介護 合計
R5.4	2	1		1				3	1
R5.5	2	1	1	1				3	2
R5.6	3	1	1	2				4	3
R5.7	3	1	1	2				4	3
R5.8	3	2	2	2				5	4
R5.9	3	3	2	2				6	4
R5.10	4	3	2	2			1	7	5
R5.11	4	3	3	2	1		1	7	7
R5.12	5	4	4	3	1		1	9	9
R6.1	5	4	4	4	1		1	9	10
R6.2	5	4	6	4			1	9	11
R6.3	5	4	6	6			1	9	13
平均	3.67	2.58	2.67	2.58	0.25		0.5	6.25	6

し、特に「黒髪地区いきいきサロン活動」においては、送迎サービスの車輛を「いきいきサロン」に貸し出す等の協力を行うことで、地域の足腰の悪い一人暮らし等生活課題のある家庭の支援を行うことができた。

3：支援状況

① コロナウイルス感染のため研修が全て Zoom での開催となった。主任ケアマネ更新要

件研修は1年間で4回参加することができた。

② 表1に示すように、徐々に利用者は増えてきた。

③ 利用者の紹介が合志市からもあったが大半は熊本市で送迎のエリア的なものもあり自事業所に支援を依頼することは難しい状況であった。

居宅介護支援事業所 令和5年度の実績

ヒューマン・ケアこしの杜 通所介護 日常生活総合支援事業令和5年度事業報告

令和5年度は、これまでより多くのご利用者にご利用いただけるよう外部への営業等を実施し、サービスの内容についても、様々な工夫を行いました。

以下、実施した内容の記載をいたします。

・利用者増員に向けての活動

熊本市北区の要支援者の利用紹介があったが、合志市以外は申請登録しておらず、受け入れる事が出来なかった。今後利用者獲得の為、送迎に支障ない程度の菊陽、熊本市北区の取り込み検討が必要。他居宅や事業所からの利用相談はほとんどない為、営業用のチラシとパンフレットを作り直し、1月から営業に出ている。3件ほど施設見学があり、1件契約に至り、他2件も4月より利用開始。昨年暮れから利用者の死亡や入院で利用率が急下降していたが、他デイサービスも閉所による相談も多く、今後は前年度より利用者増加が見込まれる予定と考えます。

・機能訓練

毎日、小集団での体操を実施し筋力維持を図っており脳トレーニングや手指を使った巧緻作業等で認知症予防を図っている。又、個別のニーズに応じた機能訓練を機能訓練士の計画の下、実施しておりそれ以外にも在宅生活に応じた生活リハビリ（洗濯たたみ、テーブル拭き、茶碗洗い、おやつ作り等）も取り入れて・家族支援利用者の生活状況、住環境のアセスメントを行い、安全で快適に在宅での生活を継続できるようケアマネージャーや関連機関との情報共有を行い、相談、助言等の支援を行った。

・安全衛生

年間防災計画に基づき防火避難訓練、消火器、消火栓操作法訓練及び設備定期点検を実施、感染症予防対策の研修（特養と合同）感染症予防として利用者の自宅での体温確認、毎日の利用者手指消毒、テーブル消毒、利用時間内のウィロック消毒、利用者帰宅後のフロア内のウィロック消毒、送迎車両の消毒を行い、デイスタッフの毎日の検温、体調チェックを行った。

又、BCP計画の作成を法人全体で実施し、今後その見直しや訓練を令和6年度実施する予定にしている。

・虐待防止・利用者の権利擁護について

虐待防止検討委員会による研修会にて、高齢者に対する権利擁護等を定期的に受講している。特に研修においては、他の事例を参考にしながら、不適切なケアについて事例検討を職員で行い、なぜ事故や虐待になってしまったのか。何を留意すべきなのか等

をグループワークを通して考え今後の業務の参考にした。

6. 活動状況

年 月	デイサービス屋外活動	デイサービス行事・趣味活動・生活リハビリ	施設行事・慰問
R 5. 4	花見(八景水谷公園) 大津つつじ園見学ドライブ	おやつ作り(はったい粉団子) さくらんぼの飾り作成 誕生会	慰問中止
R 5. 5	農業公園バラ園見学 合志市図書館	紫陽花の飾り作成 こいのぼりの飾り付け作成	慰問中止
R 5. 6	買物ツアー(アンビー熊本、ハンズマン)	トロのポスター作製 ガーランド作成	慰問中止
R 5. 7	猛暑の為、外出中止	おやつ作り(フルーツ牛乳寒天ゼリー) ひまわりの飾り付け作成 誕生会	慰問中止
R 5. 8	猛暑の為、外出中止	デイサービス夏まつり(スイカ割り 金魚すくい ストラックアウト たこ焼き作り) 敬老会飾り付け作成	慰問中止
R 5. 9	買物ツアー(アンビー熊本)	敬老会 ハロウィン飾り付け作成	慰問中止
R 5. 10	合志市図書館	運動会用の用具作成(メダル、障害物競走等)	慰問中止

		運動会	
R 5. 11	菊人形展見学	花飾り作成 ガーランド作成 誕生会	慰問中 止
R 5. 12	外出中止	クリスマスの飾りつけ作成 クリスマス&忘年会	
R 6. 1	初詣(三ノ宮神社)	正月の飾り制作 七福神ポスター塗り絵 おやつ作り(おしるこ) 誕生会	慰問中 止
R 6. 2	節分 植木市見学	梅の実の飾り制作 誕生会	
R 6. 3	桜の花見 (はあもにい保育園他)	歌詞カード作成 誕生会(2回開催)	慰問中 止

令和5年度 通所介護利用者状況

登録者数 … 8名 令和6年3月31日現在

1. 介護度別利用回数状況

年月	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	延回数	実日数	稼働率
R5.4	0	20	25	0	20	0	15	80	21	20.0%
R5.5	0	22	25	0	19	0	17	83	23	18.9%
R5.6	0	21	24	4	17	0	13	79	21	19.8%
R5.7	0	20	24	7	17	0	13	81	21	20.3%
R5.8	0	21	25	9	17	0	19	91	22	21.7%
R5.9	0	22	20	14	18	0	13	87	22	20.8%
R5.10	0	21	24	11	17	0	10	83	22	19.8%
R5.11	0	20	24	11	17	0	10	82	21	20.5%
R5.12	0	22	13	7	18	0	14	74	22	17.7%
R6.1	0	20	13	7	0	0	14	54	20	14.2%
R6.2	0	19	12	2	0	0	14	47	20	12.3%
R6.3	0	15	14	9	8	0	16	62	22	14.8%
合計	0	243	243	81	168	0	168	903	257	18.4%

※稼働率 = 延回数 ÷ 定員19名 × 実日数

2. 利用者介護度(R6.3.31 現在)

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	各介護度 ×人数 要支援= 0.375× 人数 平均介護 度 2.39
人数	0	2	1	1	1	0	2	7	
介護度× 人数	0	0.75	1	2	3	0	10	16.75	

3. 利用者保険者(R6.3.31 現在)

保険者	合志市	熊本市	菊池市	大津町	阿蘇市	菊陽町	多良木町	合計
人数	6	1	0	0	0	0	0	7

4. 利用者男女比・年齢(R6.3.31 現在)

男性	1	合計 7
女性	6	

男性平均年齢	54 歳
女性平均年齢	80.8 歳

全体平均年齢	77 歳
--------	------

年齢	70 未満	71～75	76～80	81～85	86～90	91～95	96～100	合計
男性	1	0	0	0	0	0	0	1
女性		2	0	2	2		0	6
合計	1	2	1	2	2	0	0	7

5. 曜日別利用者人数 (R6.3.31 現在)

曜日	月	火	水	金	土
人数	3 名	4 名	2 名	5 名	3 名

登録者 8 名

週延べ人数 17 名

週平均 3.4 名

※ 利用終了・・・1 名 (死亡 1 名) 登録はしているが利用無し・・・1 名

・職員の健康管理

職員の体調不良が頻回にあっている為、送迎やホール見守りに他部署スタッフに協力を得ながら運営している。入所や事務所のシフトの都合で協力要員が確保出来ない時もあり、新規職員の補充か、部署を超えて動ける人材育成等、全体的なスケジュール調整の必要性を感じた。

・事故報告について

施設駐車場内における送迎車の衝突事故が 2 件あった。(いずれもバックによる駐車中の後方車への衝突) 事業収入が少なく、職員数を人員配置基準ぎりぎりでも、事務職員や入所職員等で兼務させながらの運営であり、人員のやりくりが厳しくなっている。

交通事故後の車輛の修理もできていないところあり、現在車輛の活用ができない状況が課題である。法人に対して修理は依頼しているが、現在まだ修理ができていない状況。

・環境整備について

カーテンの破れや浴室壁面タイルの剥がれ、浴室乾燥機の法定点検のランプ点灯表示など 11 年目に入り、各設備に不具合が出来ているため、今後修理が必要である

・活動の実施・行事の中止

今般、新型コロナ感染及び職員不足に伴うサービス内容の変更から、以下予定していた慰問等行事を実施することができなかった。しかし、現在の職員でできるところは趣味活動や野外活動等実施することができた。

令和5年度 事業報告

社会福祉法人 慈敬会

特別養護老人ホーム ヒューマン・ケアたかばの杜

令和5年度 たかばの杜 入所事業報告資料

令和 6年 3月 31日

1. 利用状況

1-1 利用者の状況 (令和6年3月31日現在)

	男性	女性	合計
入所者数	6	18	24

1-2 入所利用者の要介護度

介護度	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計	平均
人数	0	0	4	17	3	24	3.96

1-3 年齢別利用者数

年齢(歳)	70~74	75~79	80~84	85~89	90~	平均年齢
男性	0	1	0	3	1	85.6
女性	1	0	3	2	12	90.3
						89.0

1-4 入所申込(待機)の状況

介護度	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
人数(人)	0	1	5	2	0	8

1-5 入所利用状況

	実日数	延人数		入・退所		利用率(稼働率)
	入所	入所	短期	入所	退所	入所
4月	30	794		1	1	98.0%
5月	31	819		1	0	97.8%
6月	30	810		0	0	100.0%
7月	31	837		0	0	100.0%
8月	31	837		0	0	100.0%
9月	30	807		0	1	99.6%
10月	31	789		0	1	94.3%
11月	30	741		2	1	91.5%
12月	31	784		0	2	93.7%
1月	31	721		0	0	86.1%
2月	29	679		0	0	86.7%
3月	31	700		1	1	83.6%
累計/平均	30.5	9318		5	7	94.3%

2. 苦情処理について

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員	
土屋 政伸	野村 佳宏	井 子文	横山 廣秋

苦情・相談内容及び件数

受付日	内容	解決策
R5. 9. 30	9月26日の敬老会の際に敬老のお祝いで国から贈呈された記念品として表彰状やひざかけ等があったが、その中のお酒について、当日息子様にどうするか相談すると、施設で使ってよい旨とのことで了承を得ていたため、厨房でお預かりしていたが、30日になって本人より、「お酒がなくなっている。誰かが勝手に持って行ったのか」と職員に訴えがあった。	敬老のお祝いの際は主介護者の息子様にも来所頂き、お祝い金等は市役所の担当者からご家族へ直接渡して頂くようにしてトラブル回避に努めていたが、お酒については息子様も不要とのことで、施設で使ってよい旨了解を得ていたものの、ご本人に説明と了解を頂いていなかったことがご本人に不安や心配をかけることとなった。お祝いについてはご本人が中心であるため、今後こういったケースの際はご本人とご家族の両方に必ず了解を得るようにすることとした。
		合計 1件

3. 防災管理について

総合防災訓練の実施状況（2回/年実施）

<p>【第1回目】…令和5年8月16日に総合防災訓練を実施（日中想定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厨房より出火想定 ・訓練後に消防署職員より屋内消火栓の使用法、スプリンクラーの説明、発信用の電話機の使用方法の説明があった。
<p>【第2回目】…令和6年2月27日に実施。（夜間想定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厨房より出火想定 ・訓練後に自動火災受診盤での火元区域の確認の仕方と資料を使った火災の出火原因についての説明を行った。

消防用設備等の点検状況（三菱電機ビルテクノサービス）2回/年実施

<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年7月18日実施。…異常なし。 ・令和6年1月18日実施。…異常なし。
--

4. 職員数、職員採用状況

令和6年3月31日付：職員数31名（前年同月数-2名）：正職員19名、パート職

員 12 名

* こうしの杜との兼務者は除く

- ・ 男性 12 名 女性 19 名
- ・ 合志市在住者 19 名 (61%)
- ・ 退職者 7 名 (介護職 3 名、看護職 2 名、介護支援専門委員 1 名、清掃 1 名)
- ・ 入職者 3 名 (介護職 1 名、看護職 1 名、清掃 1 名)
- ・ 育児休暇中 : 1 名
- ・ 異動 : 3 名 (こうしの杜から)

<入所事業>

配置基準の職種 (人数)	人数 (兼務)	有資格 (前年数)
施設長 : 1 本体との兼務可	(1)	社会福祉士 1 名 (1)
看護職 : 1	3	看護師 (准含む) 3 名 (3)
介護職 : 10	16	介護福祉士 11 名 (13)
介護助手 : 0 基準なし	1	介護支援専門員 1 名 (2)
生活相談員 : 1	1	社会福祉主事 1 名 (1)
介護支援専門員 : 1	(1)	管理栄養士 2 名 (1)
管理栄養士 : 1	2	栄養士 1 名 (2)
機能訓練指導員 : 1	0	ユニットリーダー研修受講者 1 名 (2)
本体との兼務可		認知症介護実践リーダー研修修了者 1 名 (2)
事務職 : 本体との兼務可	1	認知症ケア専門士 1 名 (2)
調理員 : 本体との兼務可	4	介護職員初任者研修修了者 1 名 (1)
清掃 :	2	技能実習指導員講習終了者 2 名 (0)
委託医 (非常勤)	(1)	安全対策加算対応研修修了者 1 名 (0)
計	31 (3) 名	

5. 入職、退職者状況

配置基準は満たしているが、こうしの杜同様に正職員の人数が少なく夜勤や早出

遅出ができる人が不足している。介護機器や ICT による業務改善とケアの工夫を今後も検討していく。

6. 職員 福利厚生

- ・新規採用時の職員健康診断
- ・法定健康診断（夜勤業務者年 2 回）
- ・インフルエンザ予防接種
- ・年末忘年会お年玉景品
- ・誕生日クオカードプレゼント

7. 施設委員会

以下の委員会を編成し、円滑な施設運営と入居者の方へのケアの向上に努めている

- ・研修記録委員会（月 1 回の施設内研修内容を考え企画する ケアの質的向上）
 - ・ケア改善委員会（日々のケアや業務改善を考える）
 - ・リフレッシュ委員会（日々のレクリエーション・余暇活動・季節行事の充実を考える）
 - ・リスクマネジメント委員会（危機管理 施設内のリスク回避や介護事故予防を考える）
 - ・身体拘束廃止適正化委員会（尊厳を守り行動制限をすることなく安全に配慮したケアを考える）
 - ・虐待防止検討委員会（高齢者の権利擁護を考える。また不適切なケアになっていないか検討する）
 - ・保健衛生委員（衛生管理、感染症予防を考える、感染管理上の事業継続計画 BCP の見直し）
感染予防のための備品管理補充、施設内消毒
 - ・環境美化委員会（施設内美化、環境整備、エコを考える）
 - ・災害防災対策委員会（施設内の防災、地域災害時の支援活動を考える、事業継続計画 B C P の見直し作成）
 - ・広報委員（広報誌の作成、施設外への広報活動）
 - ・栄養管理委員会（健康管理 栄養マネジメント 食のゆしみを考える）
- 各委員会は、年間計画した内容を実行できるように最低月 1 度の委員会を開催し業務を実行した。

8. 運営推進会議の状況

会議の開催については、その都度県や市の感染状況等を議論し開催した月もあった

が、ほとんど開催を中止した。

9. 令和5年度 入居者の方へのケア（活動）報告

1) 月別の主な活動 *は、地域交流内容

年月	施設運営設備管理	主な行事・余暇活動 *地域交流	職員研修会（内部）
R.5年 4月	新型コロナウイルス予防対策 害虫駆除	桜の花見（ドライブ） 面会シート越し	研）感染管理について （食中毒・ノロウイルス、コロナウイルス）
5月	食中毒予防月間	お茶会（24日）	・職員のメンタルサポート （食中毒・ノロウイルス、コロナウイルス）
6月	運営推進員会議 カルテ整理 コロナワクチン接種		研）災害防災管理 研）ポジショニング
7月	消防避難訓練・点検(18日) 竹迫観音祭り（不参加） 指導監査（25日）	七夕飾り	研）中止（講師都合により） ↓
8月	介護実習受け入れ 運営推進会議 介護相談員訪問	納涼祭(24日)	研）薬の知識
9月	介護相談員訪問	敬老会・式典(26日)	研）リスクマネージメント （介護事故報告書の集計と分析）
10月	コロナワクチン接種 インフルエンザ予防接種	紅葉ドライブ	研）虐待防止・身体拘束廃止に関する チェックシートグループワーク
11月		面会開始	研）中止

		敬老会（各ユニット）	市町村感染拡大により
12月	施設内外大掃除 害虫駆除 コロナワクチン5回目	ゆず湯 クリスマス・忘年会（各ユニット）	研）中止・資料配布 職員家族感染により
R.6年 1月	防災訓練・点検	正月行事・獅子舞	研）中止・資料配布 施設内感染発生により
2月		節分イベント 雛飾りつけ	研）メンタルケアについて ・R.6年度委員会編成
3月	次年度委員会計画立案 備品在庫整理 消防点検	近隣花見ドライブ	研）リスクマネジメント （事故の分析と改善策について） ・R4年度活動報告 ・R5年度活動計画
備考	エレベーター点検1回/3ヶ月	月1回：ユニット調理 （一時中止） ご近所喫茶中止	

2) 入所者の方へのケアと業務の活動報告詳細

①食事サービスについて

【給食に関する方針】

入居者様を食事づくりに参加できる機会を作り、残存機能を生かし、生きがいとなる場を提供している。

安全・安心な料理の提供、また、地産地消を取り入れている。その土地の食材や郷土料理をとりいれ、家庭的で高齢者になじみのある料理を提供している。

【栄養量等の状況】

	エネルギー —kcal	蛋白質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン C mg	塩 g
令和5年度の 栄養所要量	1506	52.5	625	6.3	100	6.8
令和5年度 給与栄養量	1696	60.9	661	8.6	121	9.6

- (1) 利用者がくつろいで食事出来るような配慮及び対応
 感染対策として食事の座席の向きは、一方向での食事であった。
 食器は陶器を使用して家庭的な雰囲気を作っている。
- (2) 利用者の身体状態（咀嚼能力、健康状態等）に合わせた調理への配慮及び対応
 その都度管理栄養士に報告し、次の提供時に対応できるようにしている。
 カンファレンスにて報告、また、栄養士が食事場を巡回し、確認して対応している。
- (3) 食事が適温で食べられるような配慮及び対応
 ユニットには、冷蔵庫・電子レンジ、IHコンロがあるので、
 遅れて食事される方には対応できている。各ユニットにてご飯を炊いている。
 また、汁物は各ユニットで温めている。
- (4) 利用者の身体状態に応じた食事のための自助具等の活用
 個人用自助具は各自持参してもらっている。
 麻痺や視覚障害がある人にはその人にあった陶器を使用している。

【食事形態】

令和6年3月1日

軟菜食	刻み食	やわらか 食	極キザミ 食	ミキサ ー食	ミキサー ーフ食	合計
10	6	0	5	1	1	23

(在籍入居者 24
名)

【食費】

朝食：380円 昼食：500円 夕食：565円 1日：1,445円

②ケアカンファレンス

朝の引継ぎ後 25～15 分のカンファレンスは継続して行っている。その内容はおひとりお一人についてのケアの方法や業務の見直し、介護事故の再発防止策、お看取り前のケアやお看取り後の振り返り等の検討等を行っている。カンファレンスは専門的知識技術の統一と同時にチームワークにおいても重要なことと位置づけ行っている。

感染対策としてカンファレンスの際には、お互い距離をとってカンファレンスを行った。

③ケアプラン・機能訓練実施状況

お一人お一人のケアプランに基づき歩行訓練や移乗動作訓練に加え、生活に即した食事の準備や後片付け、掃除や洗濯物の整理など、会話を交え楽しみながら、生活リハビリを行っている。

ケアプランカンファレンスは、今年度もほとんど職員と入居者ご本人の参加とさせていただき、後に書面でご家族に報告とした。

④ 余暇活動について

日々の余暇活動については、個別のケアプランを基にその日のユニット担当者が実行している。

また、それ以外にリフレッシュ委員会で季節のイベントや外出ドライブを計画し感染症の状況をみながら、できる限り中止にせず縮小したり、または時期をずらし実行した。

⑤ 感染症対策について（総括）

昨年に引き続き感染症の注意勧告→ご家族への面会制限・解除から面会中止の繰り返しの対応を行った。特に職員への感染症に関する情報伝達や注意警告等はグループ LINE を使用し啓発を行った。更に厚労省の参考資料を基に新型コロナウイルス感染予防マニュアルの見直しや追加記載を行った。

その内容は、1) 入居者の方への配慮やケアについて

2) 職員の日常生活や就労上の注意等のまとめ

3) 感染症発生時の対応等、フローチャート作成

4) ガウン着脱手順の確認を行い職員に周知した。

また、コロナウイルスワクチン接種については入居者の方はほぼ全員 7 回目まで接種、職員は希望により 7～5 回接種を行った。

今年度の感染状況については、R.6 年 1 月 30 日職員 1 名から発症し、その後職員 3 名と入居者 2 名にコロナウイルス陽性となり施設内での治療とケアにより 10 日後に施設内感染は終息した。

⑥ 入居者の健康管理について

入居前には、嘱託医先に受診していただきご家族と医師が面談されている。その後も状態が変化すれば、嘱託医先に受診し施設内で加療を行った。
必要であれば、ご本人とご家族が医師と面談できるように医師と連携をとっている。入居中の健康管理は、月2回金曜日に嘱託医の往診がある。内服の変更や症状の変化等があれば、ご家族へ随時連絡している。また、病状の増悪が懸念される場合や今後の療養の検討が必要な場合には、早期に医師からの説明を受けられるように、ご家族に連絡を行い今後の療養をご家族と相談している。

⑦ ご家族面会について

面会は、熊本県や合志市の新型コロナウイルス感染症の発生状況により、中止したり解除したりを繰り返した。入居者の方の状態が不安定な時やお看取り時期にある場合は、コロナ渦であっても時間を決めて居室で面会していただいた。

嘱託医とご家族面談の内容

- 1) 入居者の方の状態が変化したとき
- 2) 状態が悪化傾向にあり今後の療養が心配される時
- 3) ご家族からの相談があったとき
- 4) 看取り期と嘱託医が診断されたとき

⑧ 施設でのお看取り状況について

最後まで施設で過ごされ、施設でのお看取りをさせていただいたのは6名の方であった。

ご家族には、嘱託医から状態説明を受けていただき安心して療養できるように配慮を行った。

また、お看取り時期と診断されてからは、感染対策を行って居室で面会をしていただいた。

ケアについてはケアプランに沿って看護と介護職で協力しながら、ご本人の身体の消耗を最小限に考え、苦痛の緩和や表情や呼吸の観察を密に行いご本人が安心、安楽に療養できるように

令和5年度理事会開催状況報告

理事会開催期日	審議内容	参加理事
令和5年度第1回理事会 日付：令和5年6月23日 (金) 時間 15:00~16:00 場所 こしの杜 会議室	第1号議案 理事長選任 第2号議案 その他	理事 5名参加 監事 2名参加
令和5年度第2回理事会 (書面理事会) 議案提示 令和5年10月22日(木曜日) 議決があったとみなされる日 令和5年11月10日(月曜日)	第1号議案 技能実習生受け入れ(案)に関する件(案) 第2号議案 ICT導入(ケアカルテ)に関する補助金申請並びに 経費追加 第3号議案 建設設備及び防火設備の定期検査に関わる 第4号議案 その他	理事 6名参加 監事 2名参加
令和5年度第3回理事会 (書面理事会) 議案提示 令和6年1月15日(水曜日) 議決があったとみなされる日 令和6年1月28日(木曜日)	第1号議案 規程変更(経理規程 運営規定等) 第2号議案 定款変更 第3号議案 就業規則変更 第4号議案 令和5年度補正予算(理事 6名参加 監事 2名参加
令和5年度第4回理事会 日付：令和6年3月30日 (木) 時間 16:00~17:00 場所 こしの杜 会議室	第1号議案 令和6年度事業計画 第2号議案 令和6年度事業予算 第3号議案 その他	理事 5名参加 監事 1名参加
令和5年度第5回理事会 日付：令和6年5月30日 (木) 時間 18:00~19:00 場所 こしの杜 会議室	第1号議案 令和5年度事業報告 第2号議案 令和5年度決算報告 第3号議案 令和5年度監事監査報告 第4号議案 理事役員の退任及び理事選任につて 第5号議案 評議員会開催日の審議(案) 第6号議案 その他 通所事業の休止について	理事 4名参加 監事 1名参加

令和5年度評議員会開催状況報告

評議員会開催日	審議内容	参加者
令和5年度第1回評議員会 日付：令和6年3月21日(木) 時間：17:30~18:30 場所：こうしの杜	第1号議案 定款変更について 第2号議案 役員報酬規程の変更について 第3号議案 その他	評議員 7名 監事 1名
令和5年度第2回評議員会 日付：令和6年6月14日(金曜日) 時間：15:00~16:00 場所：こうしの杜	第1号議案 計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産 目録の承認について 第2号議案 令和5年度社会福祉充実計画報告 第3号議案 理事の退任と理事の選任について 第4号議案 その他	評議員 6名 監事 1名